



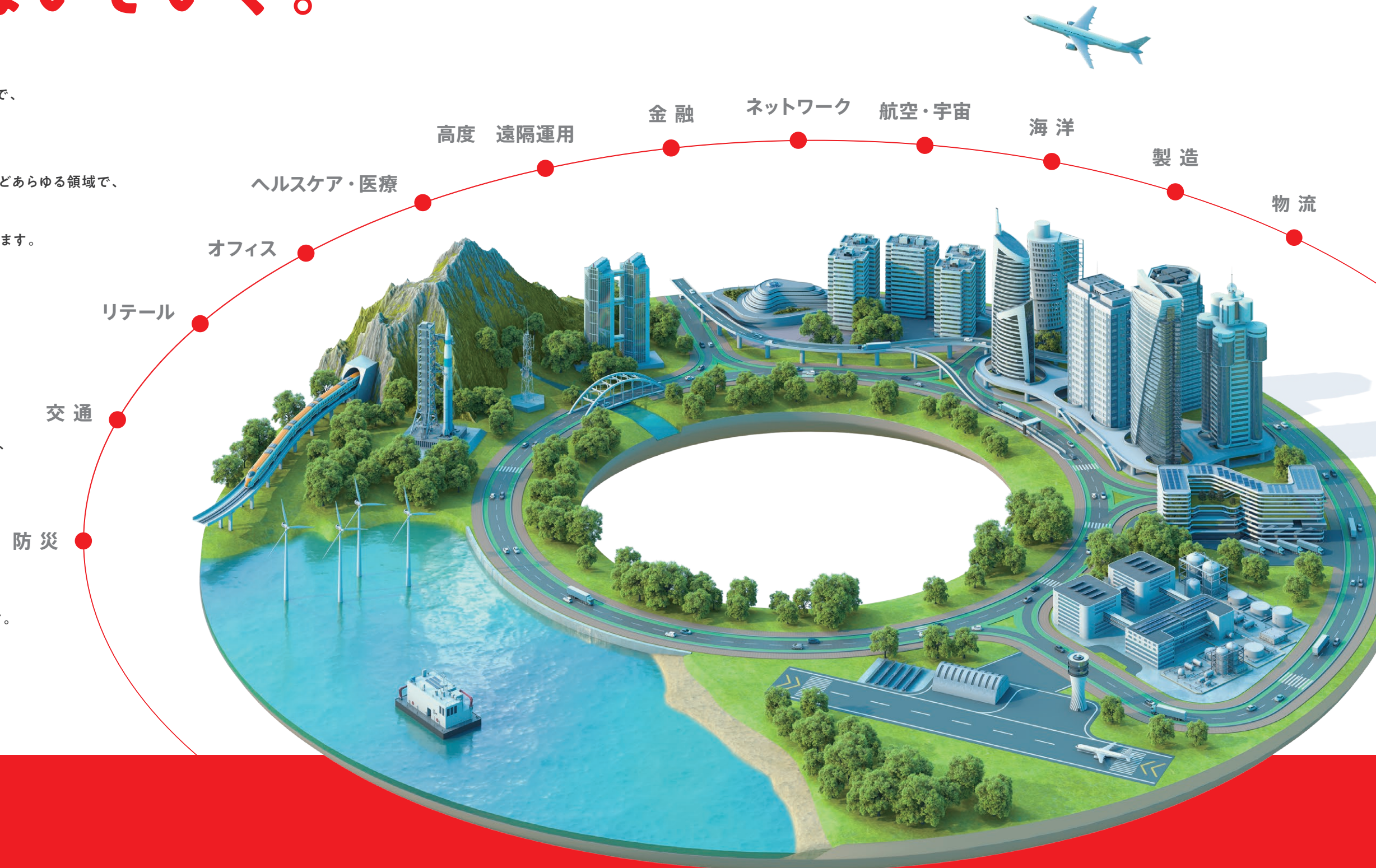
社会の大丈夫をつくっていく。

社会の今を支え、 未来へつないでいく。

私たちOKIは、140年以上にわたる歴史の中で、
社会のインフラを支えるメーカーとして、
確かな技術と信頼を積み重ねてきました。
通信、交通、金融、製造、防災、ヘルスケアなどあらゆる領域で、
見えないところから社会を支え、
誰もが安心して暮らせる未来をカタチにしています。

昨今、世の中が抱える課題は、日々変化し、
より複雑さを増しています。
この状況下で求められるのは、
次代を切り拓く革新の力です。
OKIが長年培ってきた、
どんな環境でも確実に機能する強靱な技術に、
AIやデータの力を掛け合わせることで、
社会の変化にしなやかに応え、
新たな価値を創出していきます。

誠実なモノづくりと挑戦する姿勢で、
OKIはこれからも前進と進化を続けていきます。



挑戦の軌跡、 次なるステージへ。

「進取の精神」のもと、OKIは140年以上にわたり、
多くの“初”を世界に届けてきました。
こうした歩みを礎に現在、
4つの事業セグメントで社会課題の解決と
インフラの高度化・効率化に貢献しています。
来る150周年へ、OKIの挑戦はさらに加速していきます。

提供領域と主な商品・ソリューション

パブリックソリューション

止まらない社会インフラ実現のため、無線・センサー・予測分析を活用したソリューションを展開。道路・防災・官公・防衛分野で、安全・安心な社会基盤を支えています。



道路

・道路関連システム (ETC) など



官公庁・自治体

・消防指令無線
・市町村防災無線 など



航空

・航空関連システム
・民間航空向けコックピットディスプレイ など



海洋

・防衛・海洋計測向け計測バージ (SEATEC NEO) など

エンタープライズソリューション

ATMやメカトロ製品の設計・製造から運用・保守まで一貫対応。キャッシュレスや省人化に対応し、流通・医療・公共・交通分野の効率化と利便性向上に貢献しています。



金融

・営業店/事務集中システム (ATM, SmartCash Station) など



運輸旅客

・自動手荷物預け機
・予約発券端末 など



リテール

・現金処理システム (出納機、釣銭機) など



製造

・プロジェクションアッセンブリーシステム など

コンポーネントプロダクツ

センシングや通信技術、AIを活かしたエッジデバイスやプリンターを展開。インフラや働き方改革などの課題解決に向け、国内外の多様な分野へ提供しています。



ビジネスコミュニケーション

・コンタクトセンター
・PBX
・ビジネスホン など



プリンター

・各種モノクロ／カラープリンター
・ラベルプリンター など



エッジデバイス

・920MHz帯マルチホップ無線
・ゼロエナジーIoTシリーズ など

EMS (設計・製造受託サービス)

通信やメカトロ技術を活かし、設計から製造、試験まで一貫対応。産業機器や医療、航空宇宙など、多様な領域に向けて柔軟なモノづくりを支援しています。



情報通信



産業機器



医療機器



航空宇宙・車載電装品

OKIのあゆみ

1881

沖牙太郎が明工舎を設立



1934

「3号形電話機」



1949

沖電気工業株式会社設立



1953

ページ式印刷電信機
「テレタイプライター」



1961

国産初コアメモリ採用汎用コンピューター



1969

ミニコンピューター
「OKITAC-4300」



1981

世界初
LEDプリンター



1982

世界初
紙幣運流型ATM



1996

「かわら版」
コンピュータ・テレフォニー
統合システム「CTstage」



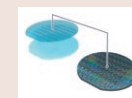
2002

設計・製造受託サービス
EMS事業を開始



2006

世界初CFB技術で
LEDとICを一体化し量産



2022

「ゼロエナジー高感度カメラ」



2031年 OKI創業

150周年

1881~

OKIのはじまりと、日本初の通信技術。

日本初の電話機を開発し、革新的な通信機器を次々と展開。通信機器メーカーとしての信頼と実績を築いていきます。

1940's~

戦後復興を支え、技術を世界へ。

電話と水中通信で復興を支援し、高周波技術を活かして海外にも展開。事業領域をエレクトロニクスへ広げました。

1960's~

周辺機器のOKIを経て、総合エレクトロニクスへ。

印刷電信機の技術を活かし、プリンター分野で成長。国産コンピューター開発にも貢献し、総合エレクトロニクスへと進化します。

1980's~

デジタル社会への革新とグローバル展開の推進。

金融システムを軸にコールセンター分野へ展開。情報と通信の融合で新分野を拓き、海外生産拠点の整備でグローバル化を進めました。

2000's~

さらなる技術の進化で持続可能な社会に貢献。

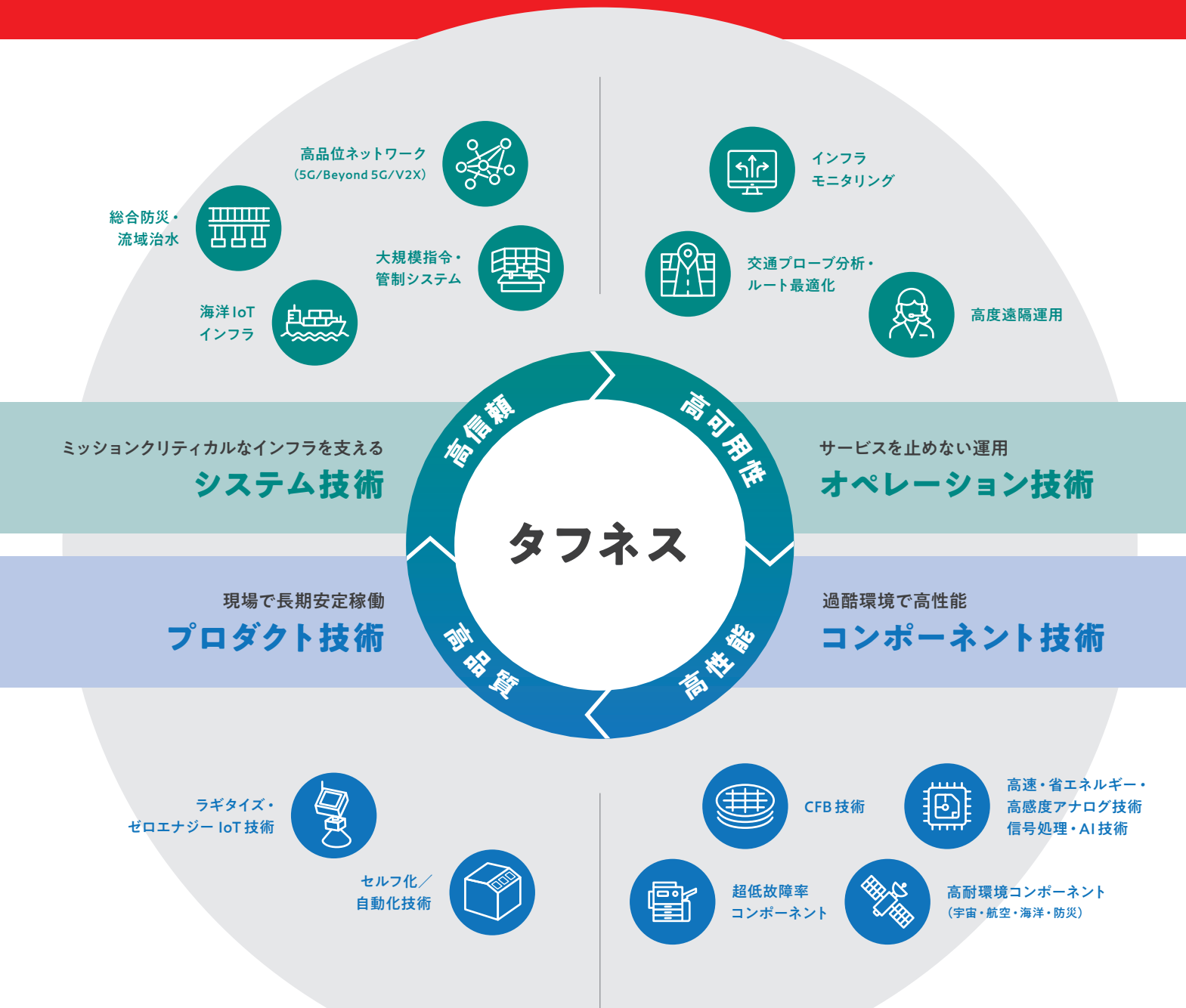
140年超の技術を土台に、AIなど先進技術も取り込み高度化。社会課題の解決に取り組み、サステナブルな社会の実現を目指します。

詳細はこちら ▶





確かな技術と未来戦略で、 持続可能な社会インフラを実現する。



OKIの「タフネス」とは、高信頼・高可用性の機器やサービスをつくる技術力だけではありません。

厳しい現場環境でも24時間365日安定して稼働し、システム全体で「止まらない／止めない」インフラを支えるため、

幅広い技術を強みに、多様なコンポーネント技術とオペレーション技術によって社会インフラを支えます。

これこそ、OKIのモノづくりのDNAであり、今後の社会に不可欠な価値です。

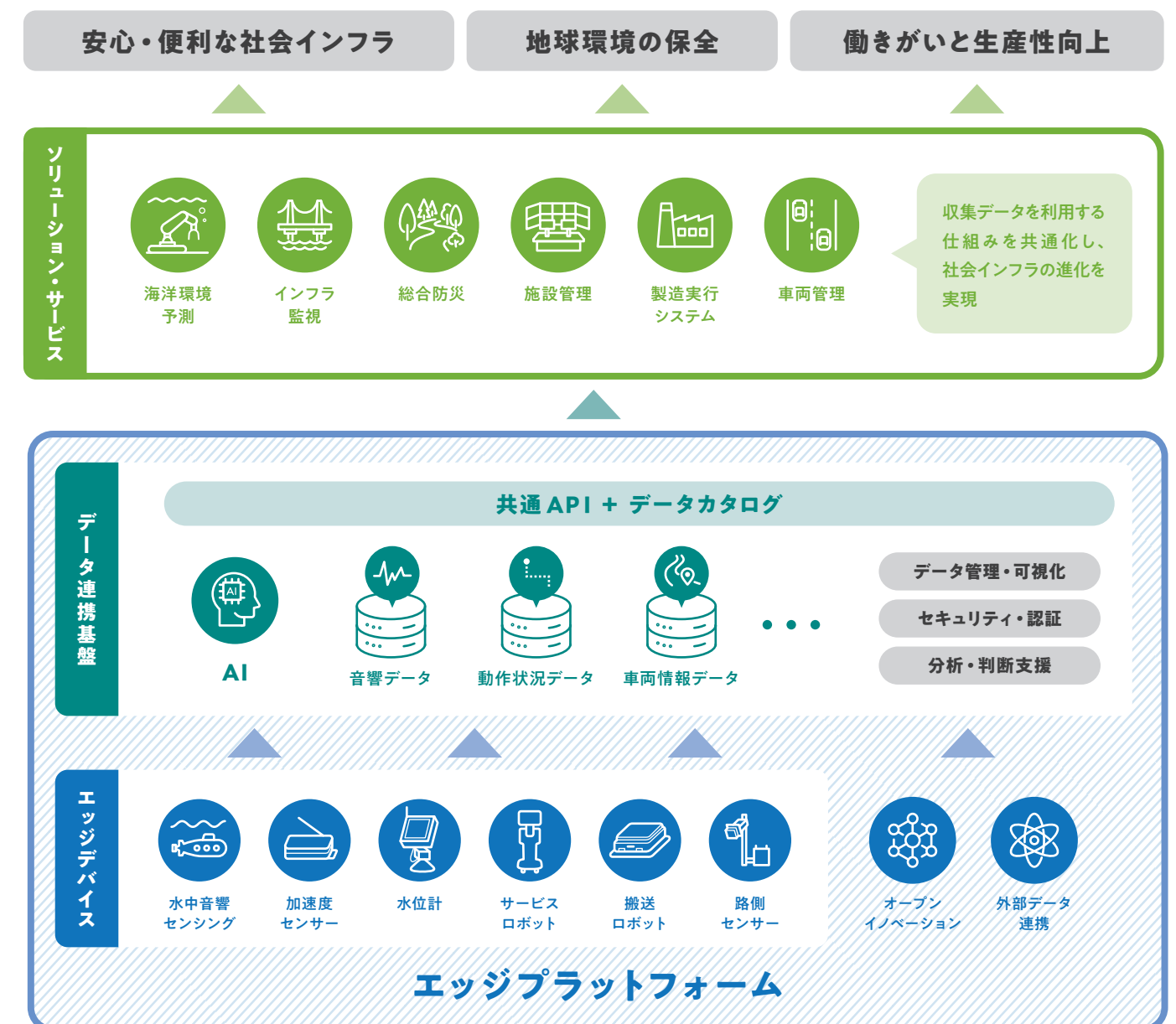
タフネスは、長期間にわたり社会インフラが「止まらない／止めない」価値を支えます。

エッジプラットフォームは、エッジ(現場)でのデータ分析・活用を通じて新たな価値を創出します。

これにより、システム全体の高い安定性や信頼性、さらには多様な現場や将来の変化にも柔軟に対応できる強みを発揮します。

OKIは、こうした技術力で社会インフラを支えながら、

AIやIoTを活用したエッジでのデータ利活用によって最前線から新たな可能性を切り拓きます。



OKIの「エッジプラットフォーム」は、さまざまなエッジデバイスやオープンイノベーションで得られるデータ、

および外部データを連携させることで、価値創出を加速します。

AIの活用で即時に分析・判断することで、人々の行動を支援し、エッジデバイスの提供価値を最大化します。

この仕組みにより、インフラや製造、防災など幅広い分野でデータを徹底的に活用し、

変化に強く持続的に機能する社会インフラの進化を実現させます。

まだ見ぬ新たな価値を生み出し、 世界中の暮らしと人々を支える。

今ある技術をさらに進化させ、これまでにない価値あるソリューションを創り出すこと。
そして、世界中の社会に広く貢献していくこと。それこそが、OKIの果たすべき使命です。
グローバルで革新の芽を育て、新たな価値の実現へとつなげています。

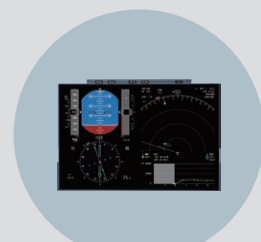
Current main products for global market



プリンター



ATM



民間航空向けディスプレイ

New business Creation

ヘルスケア・医療

行動変容プラットフォーム Wellbit

スマートフォンから利用者の時系列データを収集・分析。最適化されたメッセージをタイムリーに送信し、利用者の健康意識と行動に変化をもたらします。



物流

ロケーション・在庫管理システム SHO-XYZ

屋内外問わず保管された製品や設備品などモノの保管位置や在庫情報をスマートフォンで一元管理できるシステムです。モノの管理工数の大幅削減が可能となります。



高度遠隔運用

リモートDXプラットフォーム REMOWAY

現場の人とセンサー・端末・ロボットをリアルタイムに一元管理。リモートで高度遠隔運用（監視・制御）を行い、現場の人手不足や属人化を解決します。



半導体

CFBソリューション Crystal Film Bonding

世界で初めて量産に成功した半導体の異種材料接合技術です。この強みを活かし、他社と連携しながら、半導体デバイスの複合化による付加価値向上を目指します。



技術探索拠点 (シリコンバレー)

専任担当者が常駐し、世界中の新興技術を探索する窓口となり、OKIの海外競争力を強化します。

研究開発拠点 (ベルリン)

「OKI Berlin Lab」を設立。コア技術の一つであるフォトリソ技術の世界トップレベルに強化し、グローバルでの社会実装を目指します。

Global Innovation Hub

現在海外で事業展開している拠点を前線基地化し、全員参加型イノベーションを各拠点にも定着させ、海外からの事業発信もできる体制を構築していきます。

新たな事業 創出、 グローバル 展開へ



全員参加型イノベーション・マネジメントシステム

Yume Pro

ISO56002をいち早く先取りし、日々の業務から誰もが新規事業創出や既存事業改革、業務改善のアイデアを創出できる体制と文化を全社に根付かせています。

詳細はこちら ▶



未来をつくる、OKIの原動力。

「社会の大丈夫をつくっていく。」を キーメッセージに、ミッションクリティカルな モノづくり・コトづくりを通じて 社会課題を解決していきます。

OKIは、創業以来140年を超える歴史のなかで、常に現場におけるお客様の課題に寄り添い、止まることが許されないミッションクリティカルな社会インフラを支える商品・サービスの提供を通じて、その課題の解決に貢献してまいりました。こうした活動を通じて、常にお客様に安心をお届けし、ステークホルダーのみなさまの信頼を得ることが、企業価値向上の基盤であると認識しています。

こうした姿勢を長期的に継続し「社会の大丈夫をつくっていく。」企業として、「安心・便利な社会インフラ」「働きがいと生産性向上」「地球環境の保全」の3つの貢献分野で社会課題の解決につながる価値を提供していくことが、創業150年を迎える2031年に向けたOKIのありたい姿です。

このありたい姿の実現に向けて、環境変化への対応力を強化しながら次の成長に向けて舵を切り、持続的な成長と企業価値の向上を図るべく、2023年4月には「中期経営計画2025」をスタートしました。取り組むべき重要課題（マテリアリティ）に基づきサステナビリティ経営を実践するとともに、OKIの強みであるエッジ技術やノウハウを活用し、既存事業領域はもちろんのこと、成長が見込まれる新しい領域にも積極的にチャレンジし、将来事業の創出を目指してまいります。

キーメッセージである「社会の大丈夫をつくっていく。」に込めた想いのもと、OKIグループが貢献する分野の社会課題解決のため、これからも安心して暮らせる社会を支える新たな価値を創造・提供してまいります。

今後とも倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

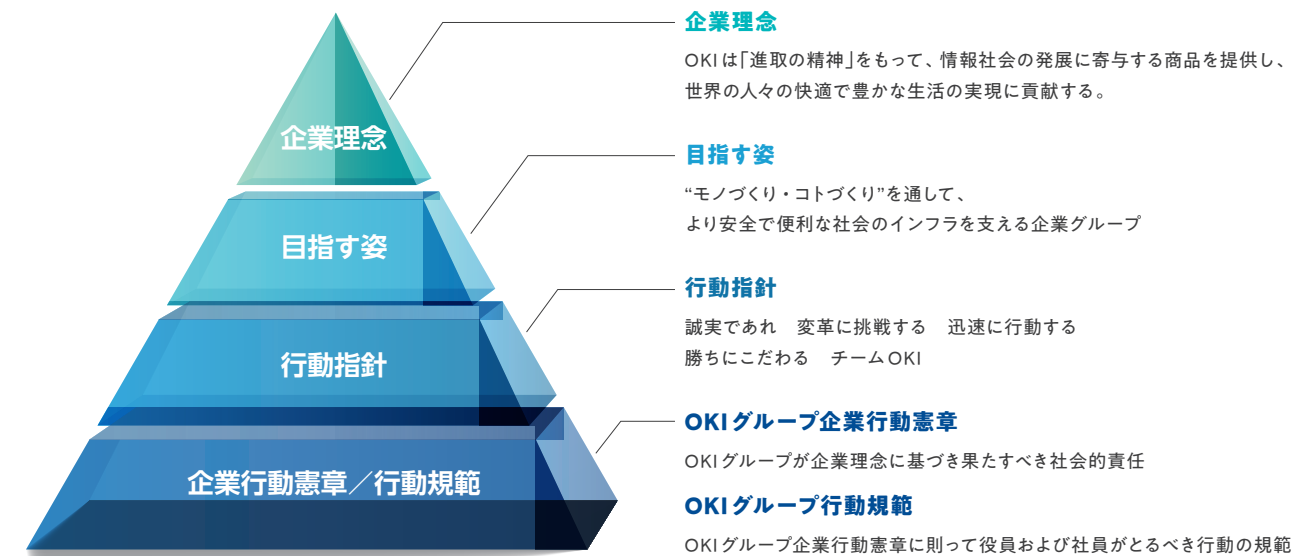


代表取締役社長執行役員
兼 最高経営責任者

森 孝廣

OKIグループが共有する価値観

事業環境が大きく変化するなか、“企業行動憲章／行動規範”に示した約束をすべての企業活動の基礎として、“行動指針”に基づいた行動の実践を徹底し、“目指す姿”を具現化することで“企業理念”を実現してまいります。



サステナビリティの取り組み

ESG 経営の視点から社会課題の解決に向けて、さまざまな取り組みを推進しています。

詳細はこちら ▶



イニシアティブ・団体へ参画

- ・国連グローバル・コンパクト (UNGC)
- ・Science Based Targets イニシアティブ (SBTi)
- ・TCFD コンソーシアム
- ・気候変動イニシアティブ (JCI)
- ・Responsible Minerals Initiative (RMI)

外部機関からの評価



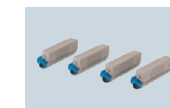
環境保全

- ・「OKIグループ環境ビジョン2030／2050」
環境と経営の融合を推進

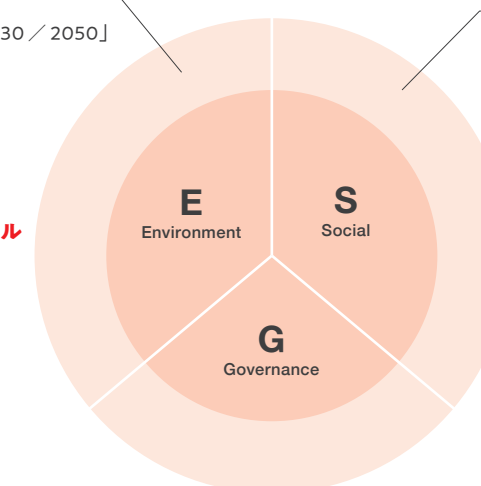
ISO14001 認証の取得

- ・生産拠点網羅率：100.0%
(2024年度実績)

使用済みの製品のリサイクル



製品自体のCO₂削減



情報セキュリティ

- ・個人情報保護の徹底
- ・一般データ保護規則対応

公正な企業活動

- ・「OKIグループ行動規範」を
全グループに徹底

社会貢献

- ・森林ボランティア
- ・国内外で地域の森づくり
- ・日本赤十字社各血液センターへの
献血運搬車寄贈



人権の尊重

- ・「OKIグループ人権方針」
「OKIグループAI原則」の制定



社員の尊重

- ・障がいある社員も在宅勤務で活躍



関連リンク

■ OKI Web サイト

<https://www.oki.com/jp/>

OKI グループの企業情報、取り組み、製品・サービス情報などをご覧いただけるポータルサイトです。



■ OKI 公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/c/OKIchannel>

OKI グループに関するさまざまな情報を動画でお届けしています。



■ OKI 公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/oki.japan/>

OKI グループの魅力を知っていただくことを目的に、OKI の「今」をお伝えする情報をご紹介します。



■ OKI レポート

<https://www.oki.com/jp/sustainability/report/>

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーに OKI グループの戦略や方針をご紹介する統合報告書です。



■ 技術広報誌 OKI テクニカルレビュー

<https://www.oki.com/jp/otr/>

OKI グループの技術開発成果などを分かりやすく伝える技術広報誌です。



※沖電気工業株式会社は、通称を OKI とします。 ※記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

会社概要

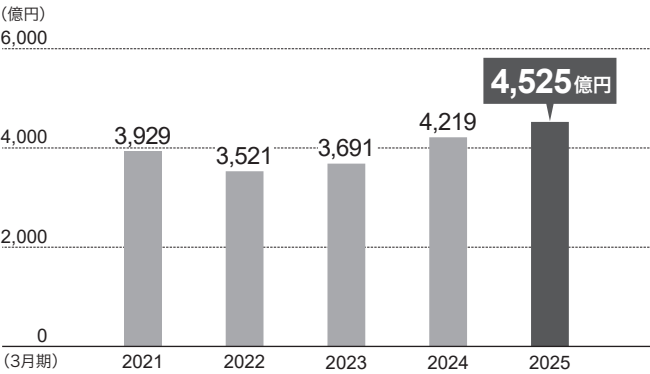
概要

(2025年4月1日現在)

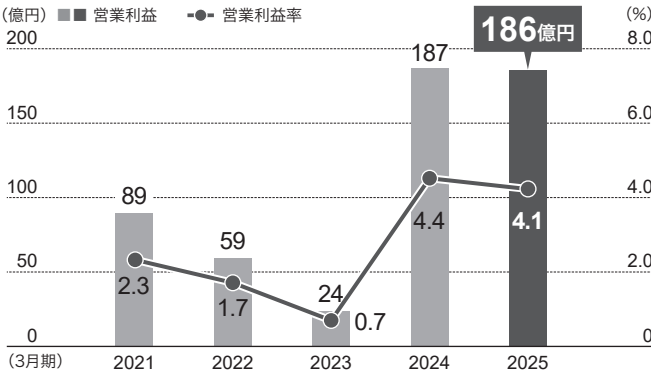
商号	沖電気工業株式会社	代表取締役社長執行役員兼 最高経営責任者	森 孝廣
英文社名	Oki Electric Industry Co., Ltd.	本社	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
創業	1881年(明治14年)		TEL 03-3501-3111
設立	1949年(昭和24年)11月1日		URL https://www.oki.com/jp/
資本金	44,000百万円		
従業員数※	13,906名(連結)、4,612名(単独)		※ 2025年3月31日現在

売上高／営業利益／営業利益率

売上高(連結)



営業利益および営業利益率(連結)



役員紹介

(2025年6月25日)

取締役

代表取締役	森 孝廣
代表取締役	寺本 禎治
取締役	片桐 勇一郎
取締役	加藤 洋一
取締役	斎藤 保※ ¹
取締役	川島 いづみ※ ¹
取締役	木川 眞※ ¹
取締役	遠山 亮子※ ¹

監査役

常勤監査役	布施 雅嗣
常勤監査役	井上 肇
監査役	津田 良洋※ ²
監査役	小田 康之※ ²
監査役	新家 寛※ ²

執行役員

社長執行役員	森 孝廣	常務執行役員	加藤 洋一
副社長執行役員	寺本 禎治	常務執行役員	西村 浩
専務執行役員	片桐 勇一郎	執行役員	井上 崇
		執行役員	伊藤 貴志
		執行役員	中津 正太郎
		執行役員	小笠原 鑑
		執行役員	鈴木 宣也
		執行役員	本杉 正哉
		執行役員	前野 蔵人
		執行役員	加藤 圭
		執行役員	中西 裕恵
		執行役員	天本 直弘
		執行役員	田辺 博

※¹ 社外取締役
※² 社外監査役

拠点紹介 (2025年4月1日現在)

主要事業所

OKI虎ノ門オフィス(東京都港区)
OKI芝浦オフィス(東京都港区)
OKI蕨システムセンター(蕨市)
高崎事業所(高崎市)
本庄工場(本庄市)
富岡工場(富岡市)
沼津工場(沼津市)
西横手工場(高崎市)
小峰工場(あきる野市)
OKI関西テクノリサーチセンター(大阪市)

営業拠点

北海道

北海道支社(札幌市)

東北

東北支社(仙台市)
青森支店(青森市)
秋田支店(秋田市)

関東・甲信越・北陸

北関東・北信越支社(高崎市)
群馬支店(高崎市)
長野支店(長野市)
新潟支店(長岡市)
北陸支店(金沢市)

中部

中部支社(名古屋市)
静岡支店(静岡市)
岐阜支店(岐阜市)

関西

関西支社(大阪市)
京都支店(京都市)

中国

中国支社(広島市)
岡山支店(岡山市)
山陰支店(松江市)
山口支店(防府市)

四国

四国支社(高松市)
高知支店(高知市)
徳島支店(徳島市)

九州

九州支社(福岡市)
熊本支店(熊本市)
鹿児島支店(鹿児島市)
大分支店(大分市)
宮崎支店(宮崎市)
沖縄支店(浦添市)

主要子会社 (2025年10月1日現在)

国内

OKIアイディエス
OKIアドテックサポート
OKIアレステック
OKIエンジニアリング
OKIクロステック
OKIコムエコーズ
OKIコムテック
OKIコンサルティングソリューションズ
OKIサーキットテクノロジー
OKIジェイアイピー
OKIシンフォテック
OKIソフトウェア
OKIソフトウェアエキスパートサービス
OKIデータMES
OKI電線
OKI東邦電子
OKI富岡マニュファクチャリング
日本ビジネスオペレーションズ
OKIネクステック
OKIハイテック
バンキングチャネルソリューションズ
OKIプロサーブ
モガミ電線
OKIワークウェル

海外

■ アメリカ

OKI Data Americas

■ ヨーロッパ

OKI Europe

■ アジア/オセアニア

沖電気金融設備(深圳)有限公司
沖電気実業(深圳)有限公司
沖電気香港有限公司
沖電気線路科技(常州)有限公司
日沖商業(昆山)有限公司
日沖商業(北京)有限公司
OKI Data(Australia)
OKI Data(Singapore)
OKI India
OKI Systems Korea
OKI Systems (Thailand)
OKI VIET NAM